



社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも  
ご寄付のお願い

社会福祉法人となっても、その財源は今までと何も変わらない現実です。皆様からの寄付は現在行っている社会福祉事業に役立させていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。なお、「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

寄付金 振込先  
 京葉銀行 新浦安支店 普通口座 5429331  
 口座名義：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも  
 理事長 西田良枝

ご利用案内

【個別のケアサービス】

- ◆パーソナルケアセンター  
 障害福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護・行動援護)  
 介護保険サービス(訪問介護・介護予防訪問介護)  
 移動支援事業・浦安市通院ヘルプサービス事業  
 パーソナルケアサービス(制度外の支援)  
 介護保険外生活支援サービス
- ◆パーソナル・アシスタンスとも居宅介護支援事業所【休止中】

【緊急時の宿泊も可能な支援】

- ◆浦安市障がい者等一時ケアセンター事業(指定管理者)

【子どもの発達支援】

- ◆障害児通所支援事業所ふあり(児童発達支援/放課後等デイサービス)
- ◆障害児通所支援事業所 マリーナ(児童発達支援/放課後等デイサービス)

【日中一時支援事業】

- ◆マリーナテラス ◆日中一時支援事業所 とも

【様々な療育事業】

- ◆イルカスイミングクラブ ◆ダンスクラブ ◆療育・手づくりパン教室  
 ◆造形教室 ◆音楽療法 ◆ムーブメント療育 ◆卓球教室

【日中活動・就労・機能訓練・余暇等の支援】

- ◆浦安市斎場内売店運営
- ◆就労継続支援 B 型事業所とも  
 キッチンカフェほっぷ運営  
 カフェテラスゆう(浦安市老人福祉センター内カフェ) 運営
- ◆浦安市身体障がい者福祉センター事業(指定管理者)

【訪問看護事業】

- ◆訪問看護ステーションとも

【生活支援のための相談】

- ◆『浦安市基幹相談支援センター』(浦安市より受託)・指定一般相談支援事業(千葉県指定)・指定特定相談支援事業(浦安市指定)・指定障害児相談支援事業(浦安市指定)
- ◆「相談支援事業所ふあり」指定特定相談支援事業(浦安市指定)・指定障害児相談支援事業(浦安市指定)

【福祉機器等の貸与・販売】

- ◆福祉用具のレンタルや販売、日生具、補装具など【休止中】

●連絡先のご案内	事業名	電話番号	メールアドレス
●パーソナル・アシスタンス とも		047-304-8808	tomo@patomo.jp
●パーソナルケアセンター(予約専門)		047-304-8811	
●障害児通所支援事業所ふあり		047-304-8860	tomo-huali1@patomo.jp
●障害児通所支援事業所マリーナ		047-304-8815	
●相談支援事業所ふあり		047-304-8860	tomo-huali2@patomo.jp
●日中一時支援事業所 マリーナテラス		047-304-8815	
●日中一時支援事業所 とも		047-304-8810	
●キッチンカフェほっぷ		047-304-8820	
●浦安市基幹相談支援センター(相談窓口)		047-304-8822	tomo-soudan3@patomo.jp
●浦安市障がい者等一時ケアセンター		047-350-8771	
●浦安市身体障がい者福祉センター		047-355-2734	
●訪問看護ステーションとも		03-5659-2100	
●パーソナル・アシスタンスとも 福祉用具貸与販売事業所		070-5561-8808	

ボランティア募集  
 ◆療育に関わるボランティア  
 イルカスイミングクラブ、生活塾、療育・手づくりパン教室、造形教室、音楽療法、ムーブメント療育、卓球教室のサポート  
 ◆フリマ、イベント、ケアルームのおもちゃ消毒などのお手伝い

FAX 番号 ..... 047-304-8821  
 ホームページ ..... www.patomo.jp

編集人：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも  
 〒279-0022 千葉県浦安市今川1-14-52  
 <編集後記>  
 あっという間の1年。月日の経つのは早く、世の中も絶え間なく変化していきますね。その中で皆さんにとって変わらないでほしいもの、変わってほしいことはどんなことでしょうか？自分らしさを失わずに進化していきたいですね。2023年も、どうぞよろしくお願いたします。 [S]

とも通信

いっしょに生きる  
楽しく生きる

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年はコロナ禍の最中にウクライナの戦争が起こり、平和だと思っていた日常がある日突然に失われる現実を目の当たりにしました。それは遠く日本に暮らす私たちはもちろん、世界中にダメージを与えるもので、他にも心を痛める出来事の多い2022年でした。それでも、それらから目を背けず立ち向かう人達も大勢いて、私たちも、ともに助け合いながらより良い明日を願う行動する人でありたいと思います。難しい現状だからこそ、「とも」が担う福祉の事業やサービスは、理不尽な現実や目の不利益に惑わされず、実直に志をもって実践する事が大事だと、新年を迎えるにあたり想いを新たにしました。

「ひとりから始まるみんなのこと」マユさんと出会う



10年前のある日、「西田さん、〇〇病院でマユちゃんのカンファレンスあるから来て」と、あおぞら診療所の前田医師から電話がかかってきました。

マユさんは20歳くらいが寿命と言われる難病を患っていました。それでもその頃までは元気に高校生活を送っていたのですが、卒業前に突然容体が悪化し、気管切開や腸瘻を余儀なくされ、病院では「ターミナルケア」(終末期)という言葉が出ていました。

「今のタイミングでしか家に帰れないと思うから、最期は家に帰って生活できるようにしてあげたい」そのためのカンファレンスでした。

マユさんは子どもだった「マユちゃん」のころから「とも」の利用者さんでした。とても活発でお茶目であつたら好きな彼女は、移動支援を使ってお出かけするのが大好きでした。そんな風に生きてきたマユさんが自宅に戻った時に、医療行為や医療的ケアが必要だからといって何も活動できなくなってしまうと、生きる意味を失ってしまうのではないかと、それが、

私たちの大きな心配事の一つでした  
 そのころ「とも」は浦安市身体障がい者福祉センターの公募に、医療的ケアが必要な方も充実した生活を送れるように事業提案をして受託していました。その目的とマユさんのへの想いが一致し、センターがマユさんの大切な居場所の一つになりました。

医療行為が必要な利用者の中でも彼女には特に濃密なケアが必要で、看護師でなくてはできない支援が多かったのですが、決して、医療行為をする場としてではなく、看護師や介護士、リハ職の支援のもと、仲間たちと日中イキイキと活動する場を提供し続けたことで、マユさんの表情には生きる意欲がもどりました。その後ターミナルケアと言われてから10年近くもお茶目なマユさんらしい個性を存分に発揮して生き、先日26歳で天国に召されました。

たったひとりを支えるためのチャレンジが、やがて、普遍的なものに繋がっていくと信じています。そのためには、たった一人のことであっても、思いをもって実践することが必要です。その思いがあればこそ、新しい社会の在り方が創られていくことを忘れないでいたいです。

まゆさん、たくさんのことを教えてくれて、チャレンジさせてくれて、ありがとう!

「とも」は2022年度で身障センターの受託を終えますが、医療的なケアが必要な方たちに活動の場を創れたことを誇りとして次のステージに立っていきたいと思っています。

2023年はグループホーム開設など、新たなチャレンジが始まります。本年も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願申し上げます。

西田良枝

# 第18回

伝えなかった気持ち  
やっと伝えられる気持ち

# アウトサイダー アート展

3年ぶりの開催です!

アウトサイダーアート展は2010年5月に始まり、今回で18回目の開催となる歴史ある展覧会です。ここ3年ほどコロナ禍で開催できておりませんでした。今回、アトレ新浦安店様の多大なるお力添えのもと、再開できることになりました。

この展覧会の始まりは当時新浦安駅前にあった「駅前センターほっぷ」という、昼はリサイクルショップ、夜は立ち飲み処として営業していた、障がいのある方達が働いていたお店での出会いです。そこで働いていた障がいのある職員がいつもの様にお店の前を掃除していたある朝、彼と当時のアトレ新浦安店の副店長さんが挨拶を交わす機会がありました。その出会いをきっかけにリサイクルショップを利用してくださるようになり、店内で展示販売されていた別の障がいのある職員の絵画を見た事から、アートに造詣が深かった副



店長さんがアート展の開催を提案してくださって、現在に至っています。

ほっぷは、厚生労働省の障害福祉推進事業に参画し、綿密な調査研究をして開所した「地域活動支援センター」事業の一つとして運営していました。「街の中で当事者が活躍し、その姿が広く住民に見える形であること」が事業目的の一つとなっていました。それがまさに具現化したものとなったのです。アトレという多くの方が利用する絶好の場所を提供してくださったことに今でも感謝の念でいっぱいです。

今回も素敵な絵をたくさん展示して皆様のお越しをお待ちしております。バラエティに富んだ作品の発するその人らしさや、これからの世の中への希望を感じていただけたら幸いです。



## 2023・1/13~1/19

2023年1月13日から1月19日まで 平日・土・日・祝日 10:00から21:00

展示会場 アトレ新浦安1階 ガーデンテラス

atré SHIN URAYASU a+ PROJECT

## 3年ぶりにクリスマス会を開催しました!!

12月11日(日)、まちづくりプラザ(旧入船北小学校)の体育館で、コロナ禍で休止していた「とも」の年末恒例行事であるクリスマス会を、3年ぶりによく開催することができました。

最初のお楽しみは、大道芸「Kekeちゃん」のパフォーマンス。ひもを使って空中高く飛ばしながら回すコマ「ディアボロ」のジャグリングでは、体育館の天井に届きそうなくらい高く舞い上げたコマが落ちてきたのを、Kekeちゃんがひもで上手にキャッチすると大きな歓声が響きました。他にも長い棒を使っての皿回しや、パイプ椅子を額に乗せるなどの驚きの演目が続き、大人も子どもも目が釘付け!絵本「はらぺこあおむし」の音楽と合わせた読み聞かせは、希望する利用者さんたちが鈴などをもって一緒に演奏に参加し、楽しいひとときを過ごしました。

次に登場したのは、以前のクリスマス会にもお越しいただいた「Sing For Life」というゴスペルグループ。

ディズニーソングやクリスマスソングを美しいハーモニーで歌いあげ、会場にいるみんなを魅了してくれました。自然と手拍子をとったり、体を揺らして楽しむ利用者さんたちの姿に職員たちも笑顔になっていました。

盛り上がりすぎてお腹が空いてきたところで、待つてましたのお餅つき!餅つきを希望する利用者さんたちが長蛇の列をなし、元気にお餅をつきました。出来上がったお餅は、きなこやあん



こ、大根おろしなどで美味しくいただきました。熱々の豚汁、カラフルな綿菓子なども大好評。おなかも心も満たされました。

その他にも、日ごろからご支援を頂いている企業様よりお菓子や飲み物などのご寄付をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。また会場の飾りつけは、日中一時の利用者さん達が頑張ってくれました。お陰様で舞台の上がとてもカラフルになりました。多忙な業務の合間を縫って何日も前から一所懸命準備をした職員の尽力と、長年お手伝い下さっているNPO法人タオさんやボランティアの方達の協力により、久しぶりのクリスマス会は盛会の内に終わりました。



まだまだコロナ禍前のように出来ませんが、これからも「とも」は障がいのある人もない人も一緒に本物に触れ、体験や想いを共有できる場を大事にしていきたいと思っております。

